



2020年度第4四半期

化学の力で未来を今日にする

ZEON

決算報告

日本ゼオン株式会社

2021年4月28日

P.2	2020年度Q4	総括とセグメントの概況
P.3	2020年度Q4	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	2020年度Q4	業績サマリー（全体）
P.6	2020年度Q4	業績サマリー（セグメント別）
P.7-8	2020年度通期	業績サマリー
P.10	エラストマー素材	概況
P.11	エラストマー素材	P/L
P.12	エラストマー素材	営業利益差異（QoQ）
P.13	エラストマー素材	営業利益差異（19 vs 20年度通期）
P.15	高機能材料	P/L
P.16	高機能材料	営業利益差異（QoQ）
P.17	高機能材料	営業利益差異（19 vs 20年度通期）
P.18	電池材料の状況	
P.19	光学樹脂の状況	
P.20	光学フィルムの状況	
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.24	2021年度通期	業績予想と配当金予想

【総括】

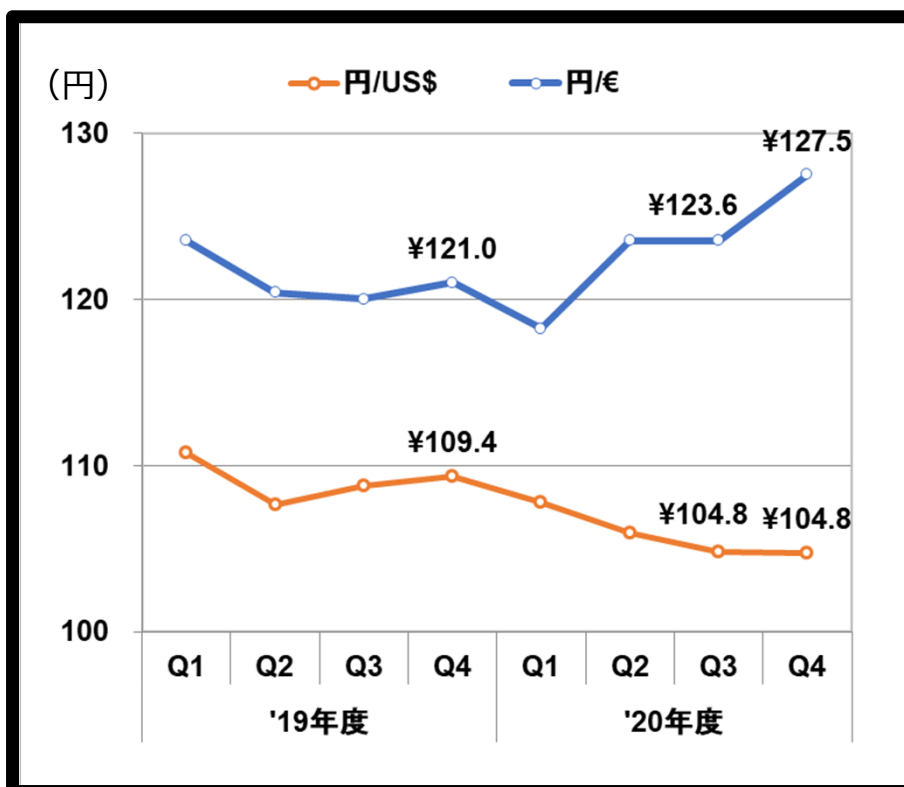
合成ゴムの需要回復等を受け、Q4業績は前年同期・前期と比較して増収増益。

新型コロナウイルス感染拡大による調達および生産への影響はない。

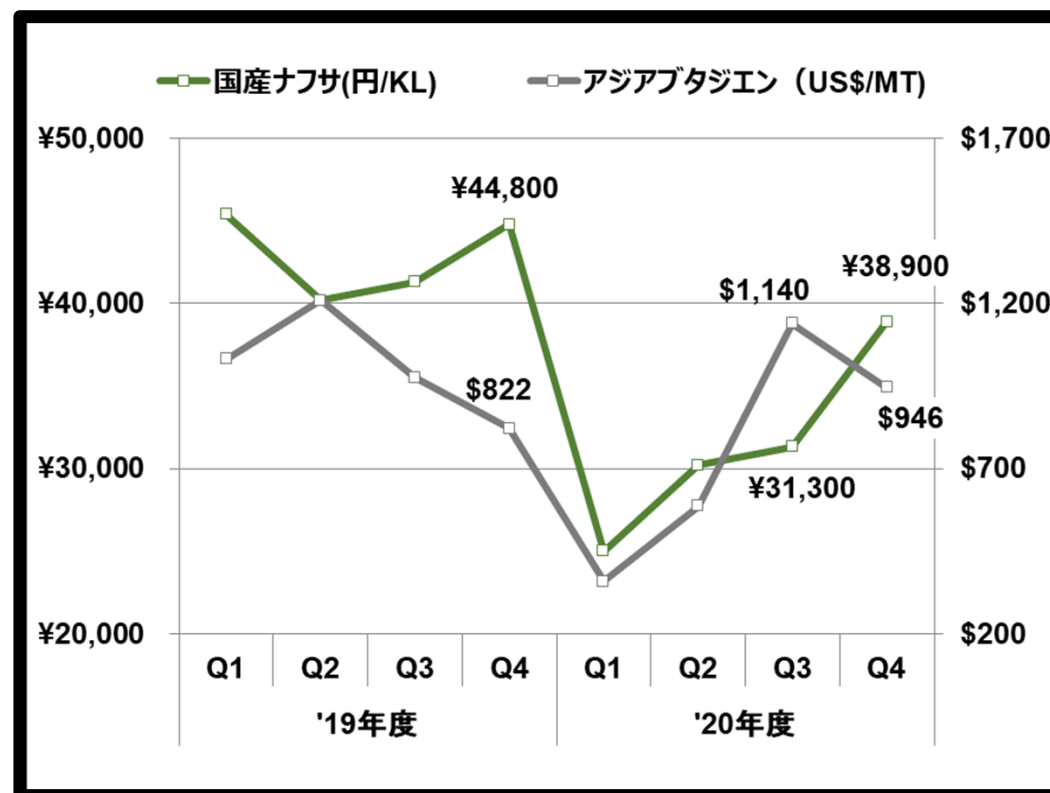
エラストマー素材の概況：合成ゴムの需要は回復、化成品の需要は堅調。ラテックスは医療・衛生用手袋向け需要が引き続き堅調。

高機能材料の概況：光学フィルムは中小型向け需要の端境期にあたるも、大型向けの需要は底堅く推移。
光学樹脂、電池材料、化学品等の需要は引き続き堅調。

【為替推移】



【主原料推移】



		2019年度 Q4	2020年度 Q3	2020年度 Q4	YoY 変化率	QoQ 変化率
為替	円/US\$	¥109.4	¥104.8	¥104.8	△4%	0%
	円/€	¥121.0	¥123.6	¥127.5	+5%	+3%
主原料	国産ナフサ/KL	¥44,800	¥31,300	¥38,900	△13%	+24%
	アジアブタジエン/MT	\$822	\$1,140	\$946	+15%	△17%

P.2	2020年度Q4	総括とセグメントの概況
P.3	2020年度Q4	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	2020年度Q4	業績サマリー（全体）
P.6	2020年度Q4	業績サマリー（セグメント別）
P.7-8	2020年度通期	業績サマリー
P.10	エラストマー素材	概況
P.11	エラストマー素材	P/L
P.12	エラストマー素材	営業利益差異（QoQ）
P.13	エラストマー素材	営業利益差異（19 vs 20年度通期）
P.15	高機能材料	P/L
P.16	高機能材料	営業利益差異（QoQ）
P.17	高機能材料	営業利益差異（19 vs 20年度通期）
P.18	電池材料の状況	
P.19	光学樹脂の状況	
P.20	光学フィルムの状況	
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.24	2021年度通期	業績予想と配当金予想

(単位：億円)	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2019年度 通期	2020年度 通期	対前年度比
	2019年度 Q4	2020年度 Q3	2020年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減			
売上高	794	789	857	+62	+68	3,220	3,020	△200
営業利益	46	112	123	+78	+12	261	334	+73
経常利益	52	120	157	+105	+38	287	387	+99
当期純利益	35	93	103	+67	+10	202	277	+75

- 対前年同期比 : 売上高 +62億円、営業利益+78億円
- 対前期比 : 売上高 +68億円、営業利益+12億円
- 通期対前年度比 : 売上高△200億円、営業利益+73億円

注記：海外関係会社の2020年10～12月実績がQ4連結決算に反映されています。

(単位：億円)

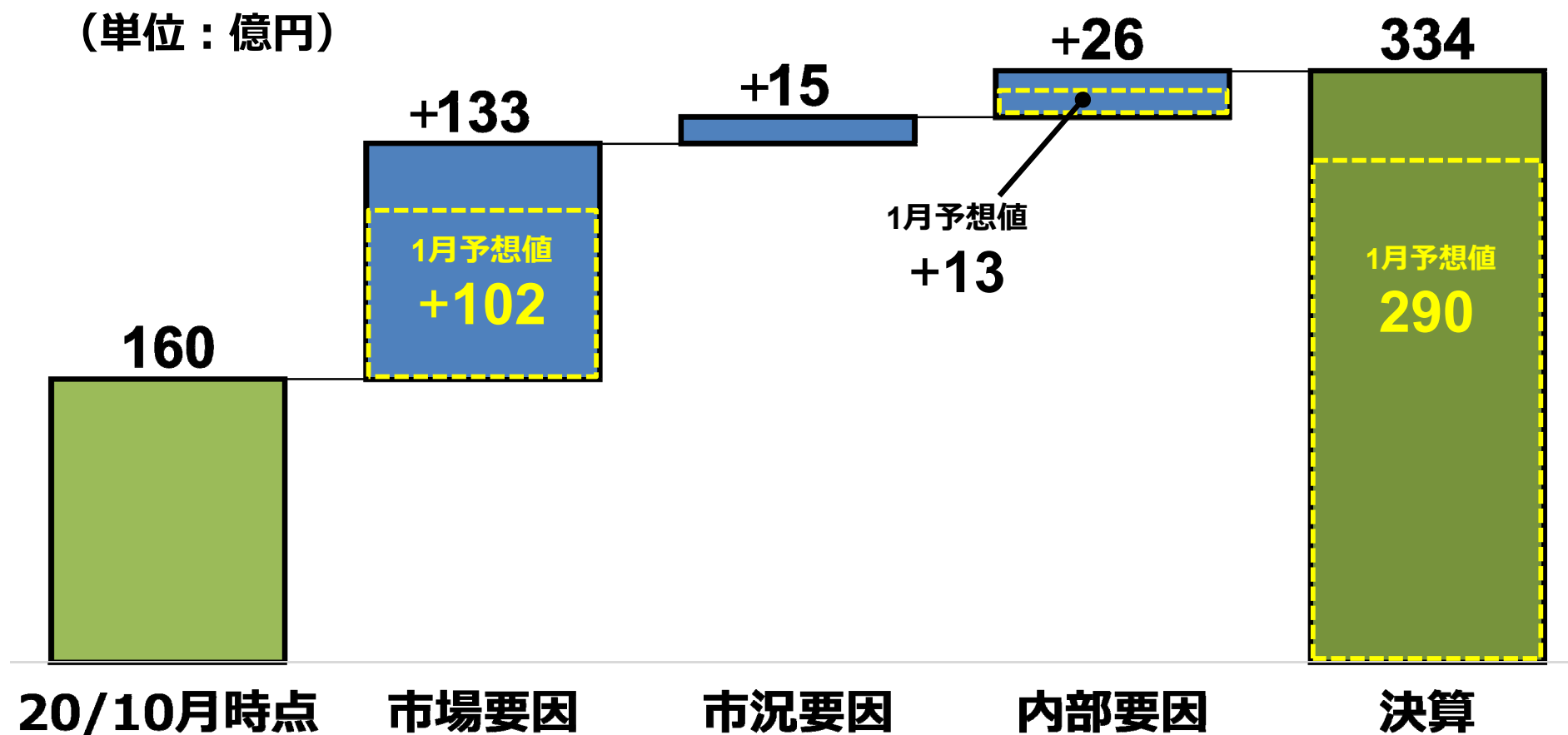
【売上高】	2019年度 Q4	2020年度 Q3	2020年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減
エラストマー素材	434	431	472	+38	+41
高機能材料	239	237	253	+14	+16
その他の事業、消去等	122	121	132	+10	+11
売上高合計	794	789	857	+62	+68

【営業利益】	2019年度 Q4	2020年度 Q3	2020年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減
エラストマー素材	11	45	70	+59	+25
高機能材料	41	66	56	+16	△9
その他の事業、消去等	△ 6	1	△ 3	+3	△4
営業利益合計	46	112	123	+78	+12

（単位：億円）

【売上高】	2019年度 通期	2020年度 通期	YoY 増減
エラストマー素材	1,788	1,616	△172
高機能材料	917	955	+37
その他の事業、消去等	514	449	△65
売上高合計	3,220	3,020	△200

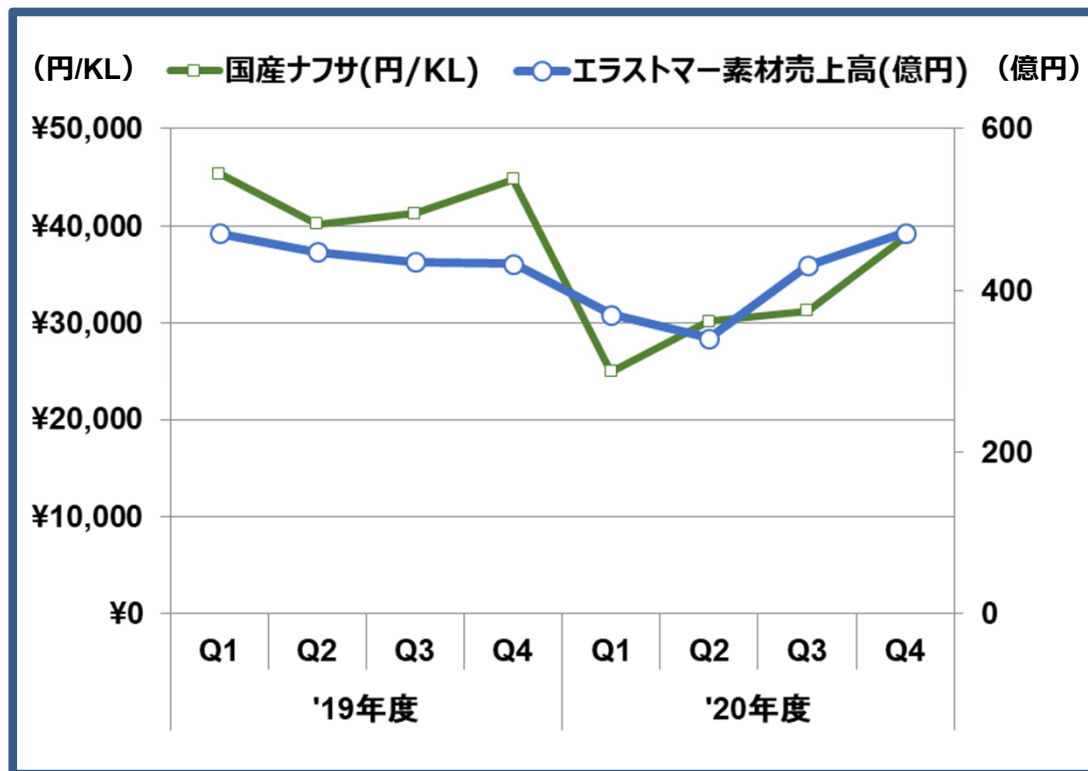
【営業利益】	2019年度 通期	2020年度 通期	YoY 増減
エラストマー素材	96	123	+26
高機能材料	173	220	+46
その他の事業、消去等	△ 8	△ 8	+0
営業利益合計	261	334	+73



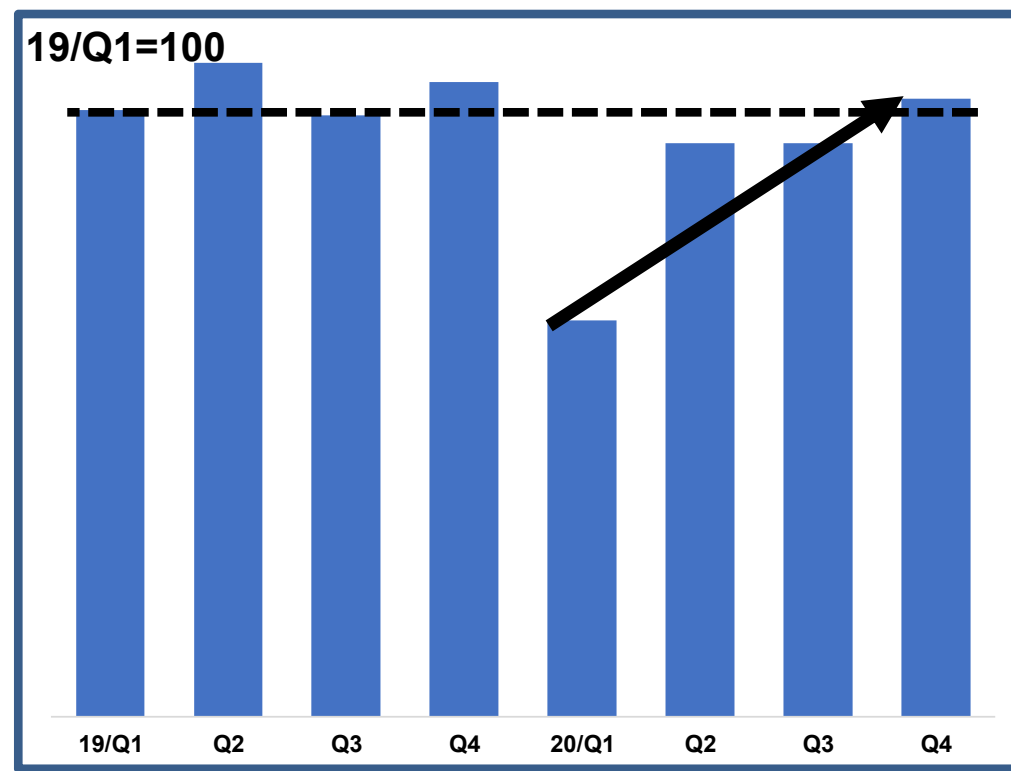
市場要因+102億円予想に対してエラストマー素材が14億円、高機能材料が17億円上振れるとともに、不急費用の圧縮効果等が発現

P.2	2020年度Q4	総括とセグメントの概況
P.3	2020年度Q4	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	2020年度Q4	業績サマリー（全体）
P.6	2020年度Q4	業績サマリー（セグメント別）
P.7-8	2020年度通期	業績サマリー
P.10	エラストマー素材	概況
P.11	エラストマー素材	P/L
P.12	エラストマー素材	営業利益差異（QoQ）
P.13	エラストマー素材	営業利益差異（19 vs 20年度通期）
P.15	高機能材料	P/L
P.16	高機能材料	営業利益差異（QoQ）
P.17	高機能材料	営業利益差異（19 vs 20年度通期）
P.18	電池材料の状況	
P.19	光学樹脂の状況	
P.20	光学フィルムの状況	
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.24	2021年度通期	業績予想と配当金予想

【国産ナフサ価格とエラストマー素材売上高推移】



【合成ゴム出荷量推移】

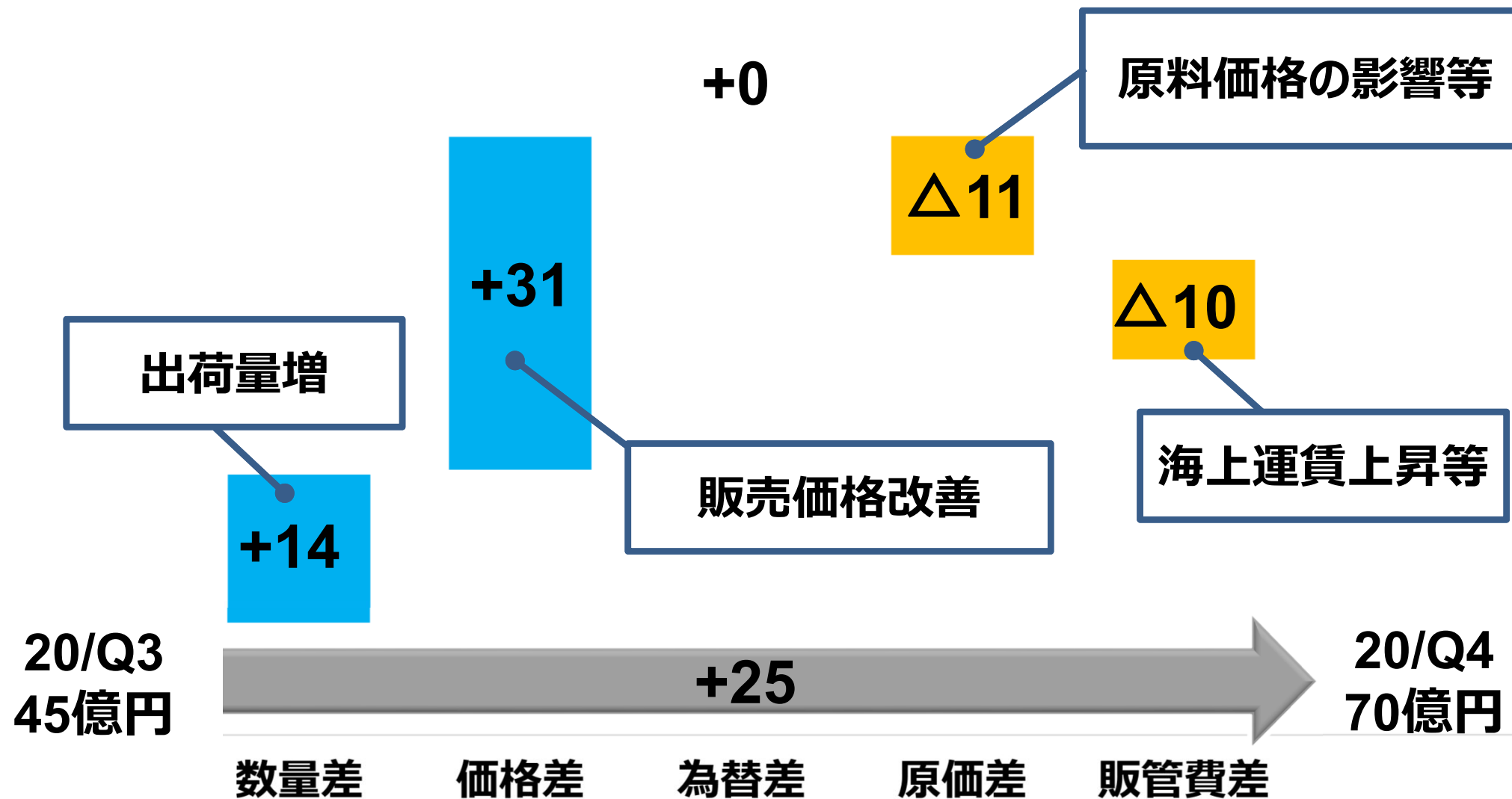


合成ゴムの出荷量回復、売上高増加

(単位：億円)	2019年度 Q4	2020年度 Q3	2020年度 Q4	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
出荷量 (千トン)	150	151	176	26	17 %	25	16 %
合成ゴム	88	82	99	11	12 %	17	20 %
ラテックス	28	32	37	9	32 %	5	15 %
化成品	34	37	41	6	18 %	4	10 %
売上高	434	431	472	38	9 %	41	10 %
合成ゴム	292	286	319	27	9 %	33	12 %
ラテックス	40	45	51	11	28 %	6	14 %
化成品	90	85	88	△ 2	△ 2 %	3	4 %
その他・消去	12	15	14				
営業利益	11	45	70	59	534 %	25	55 %
営業利益率	3%	10%	15%				

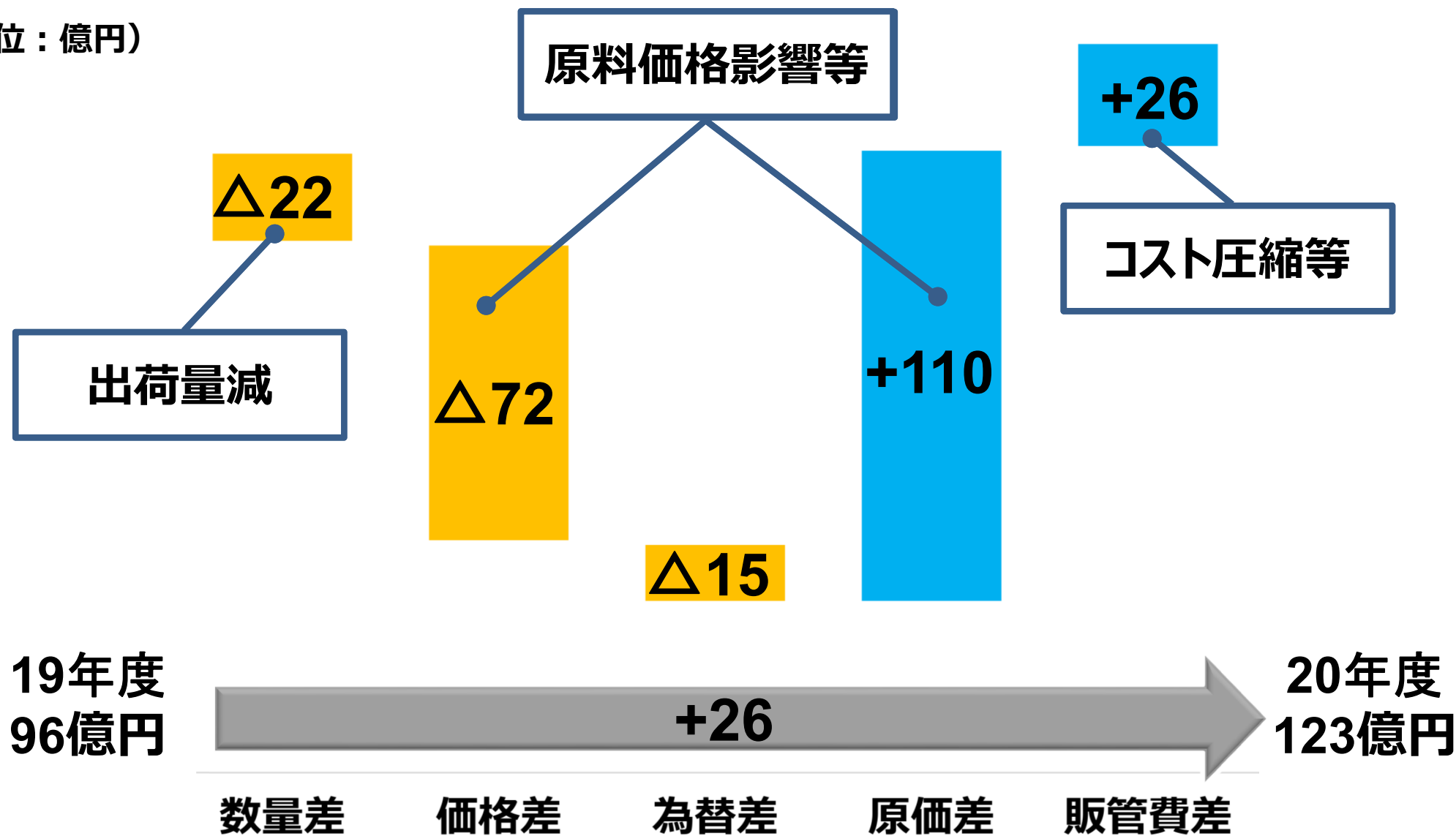
- 合成ゴム : 出荷量回復
- ラテックス : 医療・衛生用手袋向け堅調
- 化成品 : 需要底堅く推移

(単位：億円)



エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異 (YoY) ZEON

(単位：億円)



P.2	2020年度Q4	総括とセグメントの概況
P.3	2020年度Q4	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	2020年度Q4	業績サマリー（全体）
P.6	2020年度Q4	業績サマリー（セグメント別）
P.7-8	2020年度通期	業績サマリー
P.10	エラストマー素材	概況
P.11	エラストマー素材	P/L
P.12	エラストマー素材	営業利益差異（QoQ）
P.13	エラストマー素材	営業利益差異（19 vs 20年度通期）
P.15	高機能材料	P/L
P.16	高機能材料	営業利益差異（QoQ）
P.17	高機能材料	営業利益差異（19 vs 20年度通期）
P.18	電池材料の状況	
P.19	光学樹脂の状況	
P.20	光学フィルムの状況	
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.24	2021年度通期	業績予想と配当金予想

(単位：億円)

	2019年度 Q4	2020年度 Q3	2020年度 Q4	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	239	237	253	14	6 %	16	7 %
高機能樹脂	147	154	159	12	8 %	5	3 %
高機能ケミカル	76	69	81	5	7 %	13	18 %
メディカル他	16	14	12	△ 3	△ 22 %	△ 2	△ 11 %
営業利益	41	66	56	16	38 %	△ 9	△ 14 %
営業利益率	17%	28%	22%				

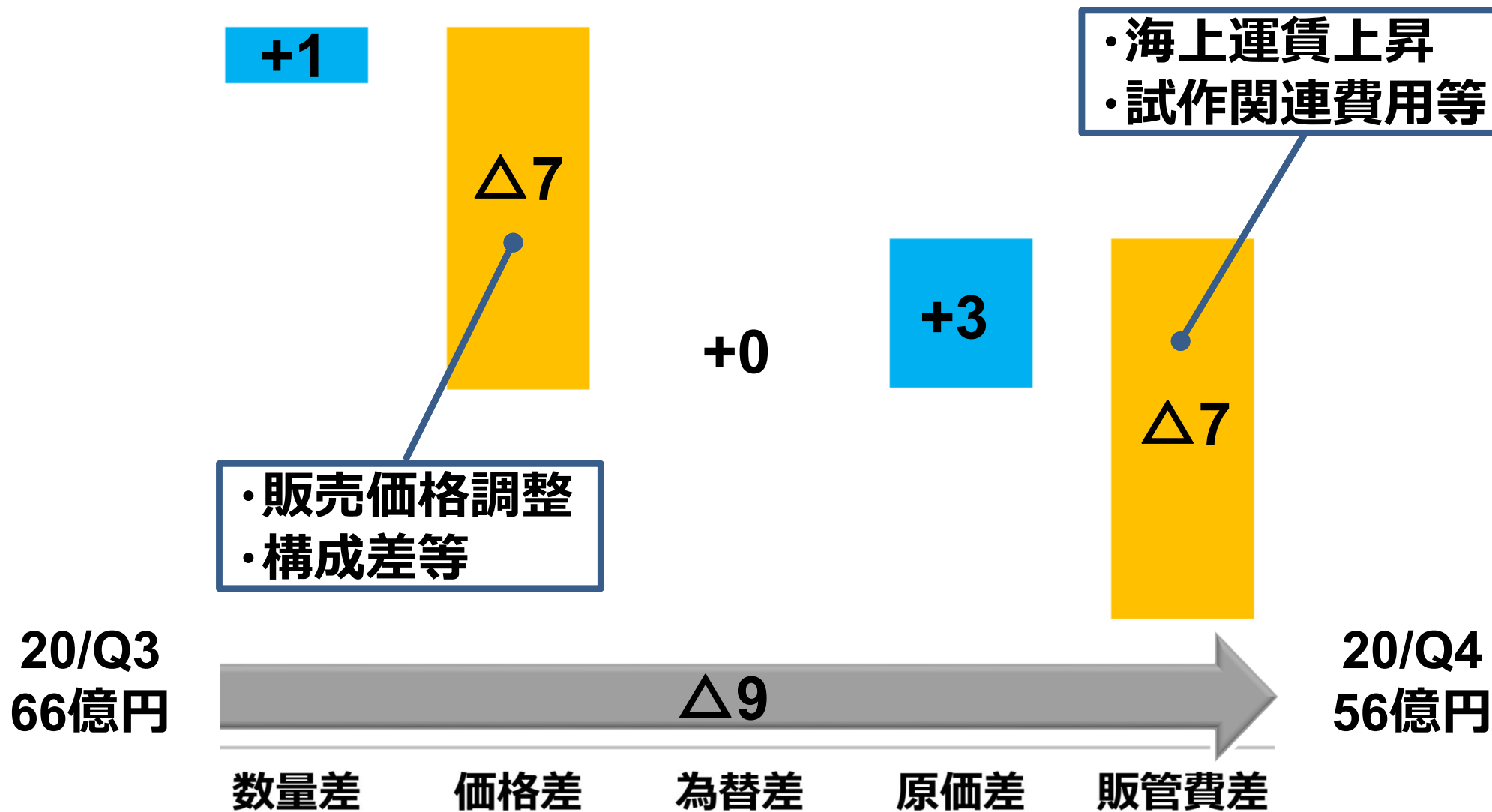
■ 高機能樹脂関連

- 光学フィルムは中小型向け需要の端境期、大型向けは堅調維持
- 光学樹脂の出荷堅調

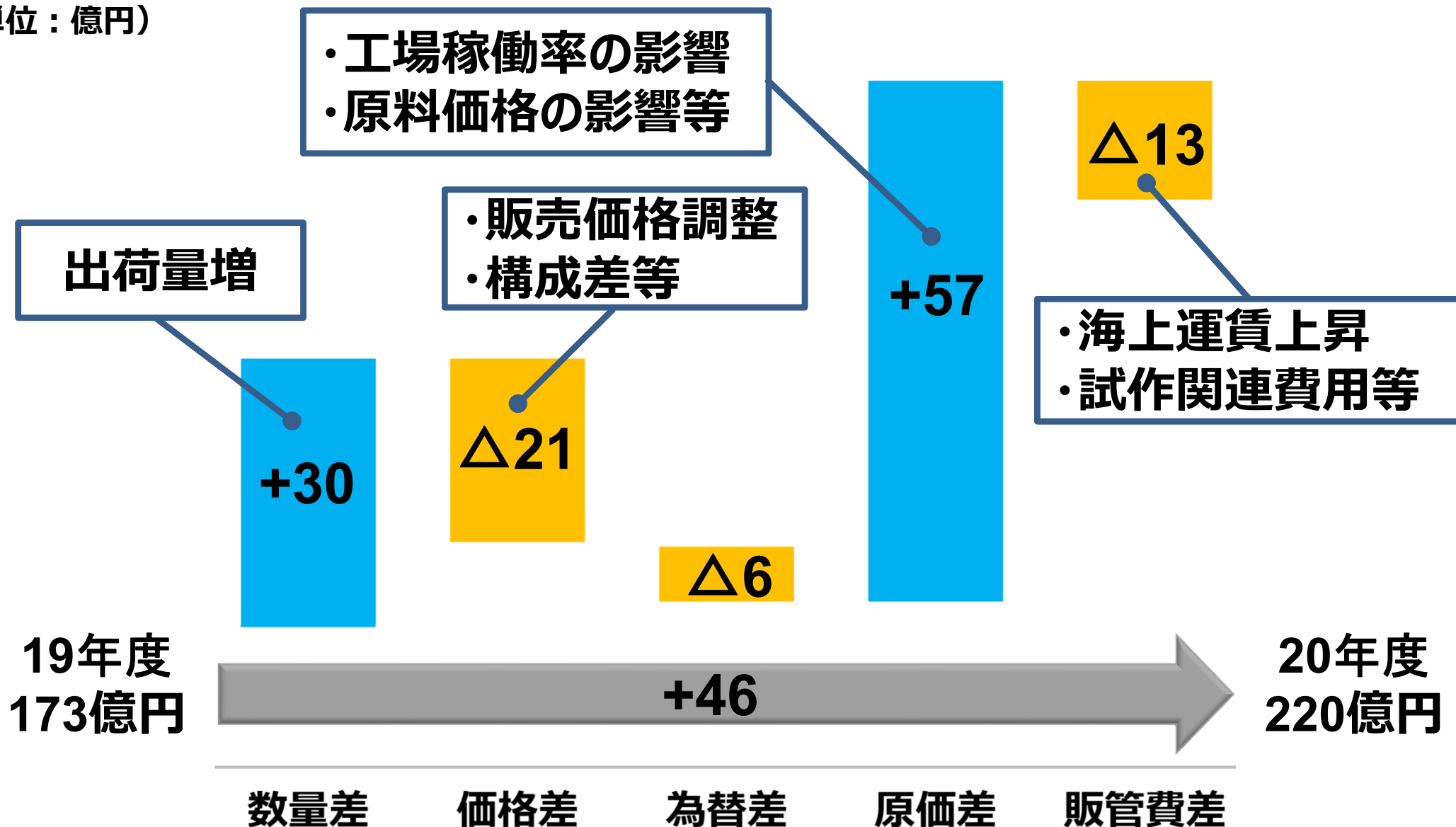
■ 高機能ケミカル関連

電池材料、化学品の出荷堅調

(単位：億円)



(単位：億円)



	YoY	QoQ
EV向け	146%	122%
民生他向け	130%	82%
全体	140%	108%

■ EV向け

欧米向け、中国向けともに堅調

■ 民生他向け

モバイル用途向けは需要の端境期、
産業用途（ESS）は通期で前年度並み

	YoY	QoQ
光学用途	94%	98%
医療、その他	131%	127%
全体	115%	105%

光学用途、医療用途ともに需要は堅調だが、今年7月完工予定の能力増強工事および定期検査期間に備えて、引き続き出荷量を調整

	YoY	QoQ
中小型向け	120%	88%
大型向け	103%	103%
全体	107%	99%

■ 中小型向け

タブレット向けは当社予想を上回る出荷となったが、
モバイル向けは需要の端境期にあたり全体では前期比減

■ 大型向け

中国市場向けが伸びて堅調維持

P.2	2020年度Q4	総括とセグメントの概況
P.3	2020年度Q4	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	2020年度Q4	業績サマリー（全体）
P.6	2020年度Q4	業績サマリー（セグメント別）
P.7-8	2020年度通期	業績サマリー
P.10	エラストマー素材	概況
P.11	エラストマー素材	P/L
P.12	エラストマー素材	営業利益差異（QoQ）
P.13	エラストマー素材	営業利益差異（19 vs 20年度通期）
P.15	高機能材料	P/L
P.16	高機能材料	営業利益差異（QoQ）
P.17	高機能材料	営業利益差異（19 vs 20年度通期）
P.18	電池材料の状況	
P.19	光学樹脂の状況	
P.20	光学フィルムの状況	
P.22	B/S概要	
P.23	C/F概要	
P.24	2021年度通期	業績予想と配当金予想

総資産4,488億円 (+437)

【流動資産】 +188億円
 ◆現預金 +199億円
 ◆棚卸資産 ▲58億円

流動資産
 2,332
 (+188)

【固定資産】 +249億円
 投資有価証券 +241億円

固定資産
 2,156
 (+249)

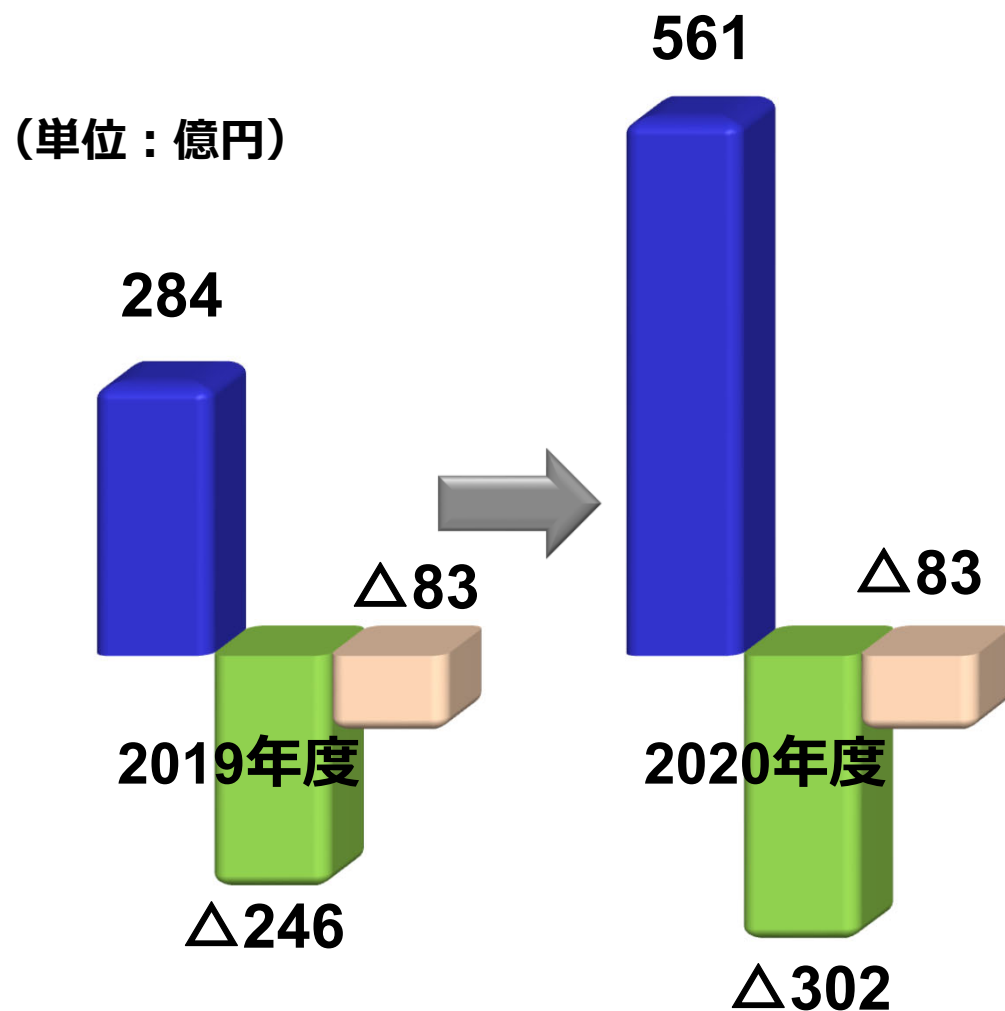
【流動負債】 +14億円
 修繕引当金 +15億円

流動負債
 1,139
 (+14)

固定負債 367 (+44)

純資産
 2,982
 (+379)

【純資産】 +379億円
 ◆利益剰余金 2,443億円 (+239)
 ◆有利子負債 190億円 (▲20)
 ◆自己資本比率 65.8% (+2.3)
 ◆D/Eレシオ 0.06 (▲0.02)

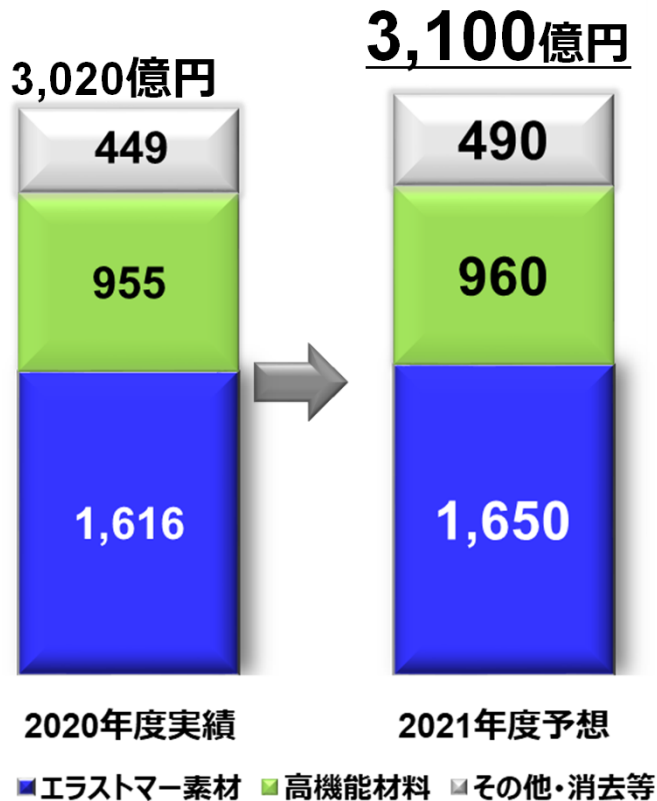


(単位：億円)

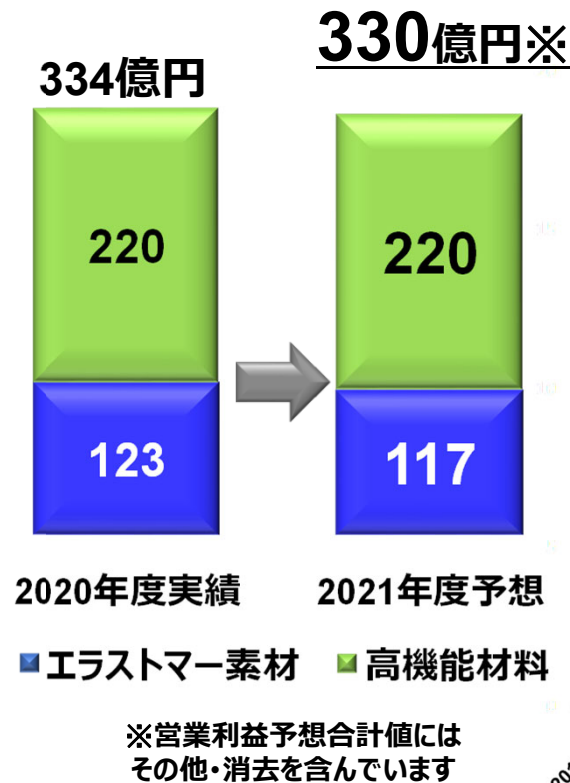
	2019年度	2020年度
営業CF	284	561
投資CF	△ 246	△ 302
フリーCF	39	258
財務CF	△ 83	△ 83
CF	△ 44	176

■ 営業CF
 ■ 投資CF
 ■ 財務CF

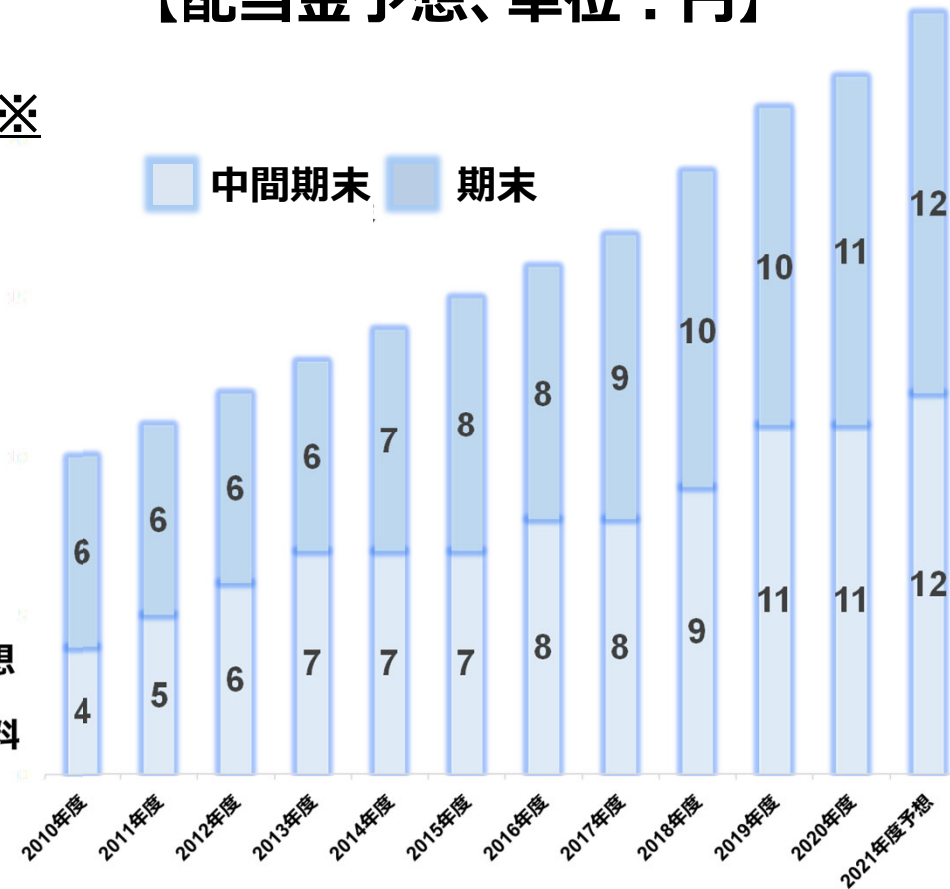
【売上高予想】



【営業利益予想】

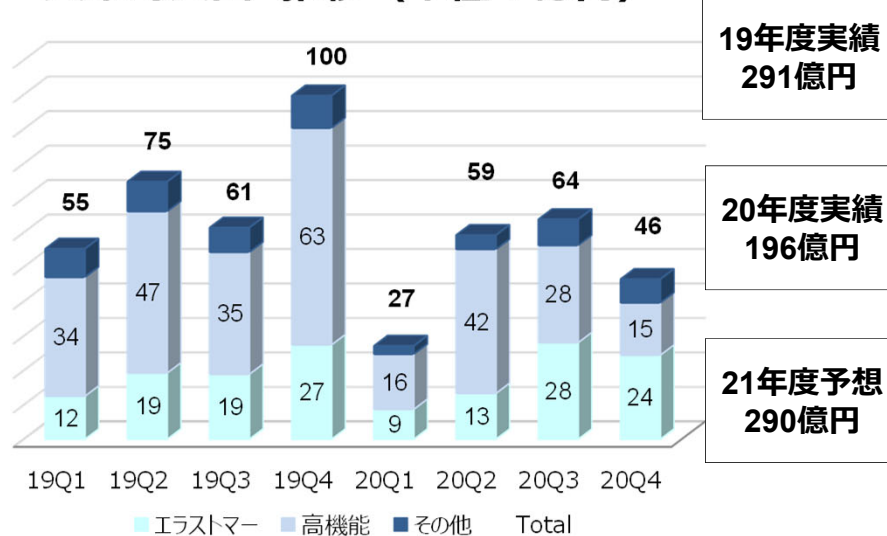


【配当金予想、単位：円】

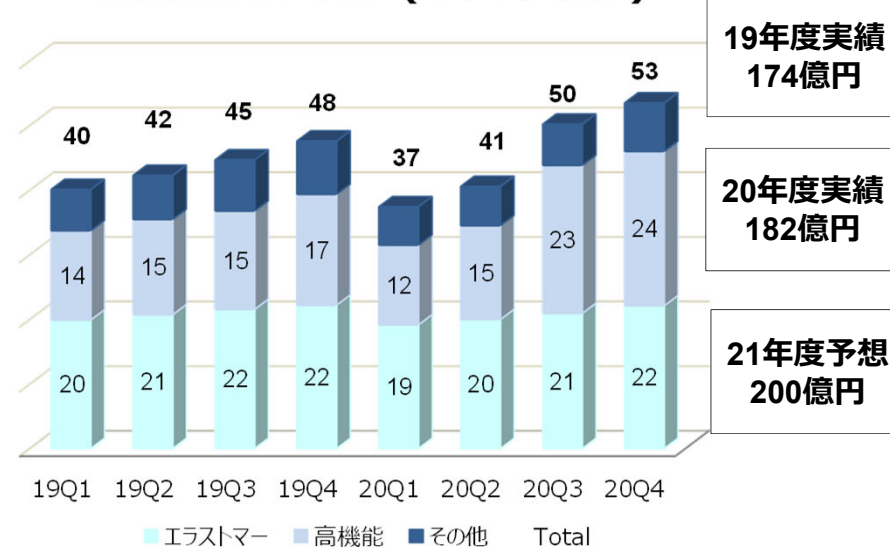


- 2021年度通期業績は売上高3,100億円、営業利益330億円と予想 (US\$=105円、€=125円前提)
- 2021年度の配当金は中間期末12円、期末12円の24円配当を予想 (対前年度+2円)

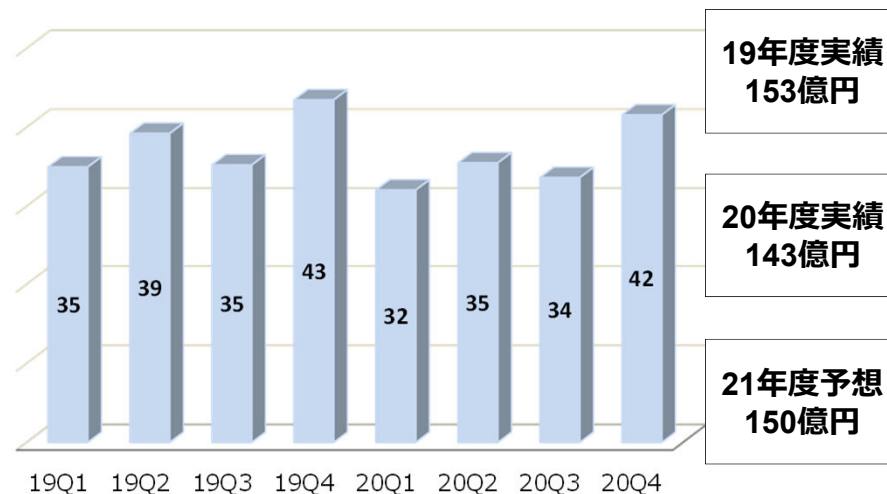
資本的支出 推移 (単位：億円)



減価償却費 推移 (単位：億円)



研究開発費 推移 (単位：億円)



本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

2021年度 Q1決算発表	2021年7月30日（金）を予定
--------------------------	-------------------------

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

ZEON

日本ゼオン株式会社

以上